

公共建築工事の発注者の  
先進的取組・新たな業務内容等の取組事例集  
(第二版)

平成31年3月

国土交通省大臣官房官庁営繕部

## はじめに

「官公庁施設整備における発注者のあり方について」答申（平成 29 年 1 月 20 日社会資本整備審議会）では、当面実施すべき施策として、公共建築工事に関する「先進的取組等の優良事例」や「新たな業務の内容やその具体事例」を、発注者に対して情報提供を行うこととされました。これを踏まえ、国土交通省大臣官房官庁営繕部において、地方公共団体の協力を得ながら本事例集をとりまとめました。

答申や、発注者から寄せられたニーズを踏まえ、先進的取組や新たな業務内容等の事例として他の発注者の参考となると考えられる、以下の 5 つのテーマに沿った取組を地方公共団体の発注者に募集し、平成 30 年 3 月までに提供を受けた 10 件の事例をとりまとめ、平成 30 年 5 月に第一版を公表しました。

- A 事業部局への発注ルール等の周知
- B 発注者の技術者不足への対応
- C ストックの有効活用のための改修や用途変更工事
- D 他の発注者との施設の合築
- E 複数の用途による複合化

引き続き、テーマと取組事例の募集を継続しており、平成 31 年 3 月までに新たに 4 件の事例の提供を受け、第二版をとりまとめました。

なお、取組事例等の募集を今後も引き続き実施し、新たな事例の提供に応じて継続的にとりまとめることとしています。

### 「官公庁施設整備における発注者のあり方について」答申（抜粋）

#### IV. 当面実施すべき施策

上記Ⅲ. の考え方を踏まえ、国土交通省は以下の施策を推進し、公共建築工事の発注者の業務が適切に行われるように努めるべきである。

#### (2) 技術基準等の整備・活用と人材育成の促進等

#### 3) 発注者の業務内容に関する情報提供の推進

国土交通省は、以下の事項をとりまとめ、発注者に対して情報提供を行うこと。

- ①公共建築工事の過程における留意事項や発注条件として示すべき項目、それらに関する不適切と考えられる運用。先進的取組等の優良事例
- ②公共建築工事に関する新たな業務の内容やその具体事例

## お問い合わせ先

- ・この事例集について：国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課(03-5253-8111 内線 23224)
- ・個別の取組について：2～6ページに記載の各問い合わせ先

※この事例集に掲載している写真、図表、記事等の著作権は全て各発注機関に帰属します。

## 取組事例

### A 事業部局への発注ルール等の周知に関する事例

取組内容	概要	問い合わせ先	ページ
営繕工事に係る事業費等の 予算見積業務(下調)	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業部局が発注部局に依頼する営繕工事について、事業の前年度までに、発注部局の営繕工事に係る事業費等の予算見積業務(下調)を行う。</li><li>・予算見積業務(下調)により、事業部局は適正な予算額・工期などの把握が可能。</li></ul>	横浜市建築局公共建築部 営繕企画課 045-671-2916	7

C ストックの有効活用のための改修や用途変更工事

施設名	旧施設名	延べ面積	所在地	問い合わせ先	ページ
熊谷市スポーツ・文化村 くまびあ	熊谷市立女子高等学校	総合管理棟 1,897 m <sup>2</sup> 練習棟 629 m <sup>2</sup> 体育館 3,259 m <sup>2</sup> 宿泊棟（東館） 630 m <sup>2</sup> 創作展示棟 3,065 m <sup>2</sup> 宿泊棟（西館） 1,114 m <sup>2</sup> クラブハウス 427 m <sup>2</sup> 陶芸室 36 m <sup>2</sup>	埼玉県熊谷市	熊谷市建設部営繕課 048-524-1111	8
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 （展示場）	ローヤル洋菓子店	711 m <sup>2</sup>	埼玉県本庄市	本庄市市民生活部 市民活動推進課 0495-22-0828	9
氷見市庁舎	富山県立有磯高等学校	7,890 m <sup>2</sup>	富山県氷見市	氷見市建設部 都市計画課 0766-74-8079	10
八戸高等支援学校	八戸南高等学校	校舎棟 7,049 m <sup>2</sup> 第一体育館 1,315 m <sup>2</sup> 食堂（旧柔剣道場） 391 m <sup>2</sup> 実習棟（旧多目的会館） 401 m <sup>2</sup> EV棟 44 m <sup>2</sup>	青森県八戸市	青森県県土整備部 建築住宅課 017-734-9702	11
国立近現代建築資料館	湯島合同庁舎	本館 5,798 m <sup>2</sup> 別館 2,753 m <sup>2</sup> 新館 366 m <sup>2</sup> （国立近現代建築資料館は 別館と新館の一部を活用）	東京都文京区	国土交通省 関東地方整備局 営繕部計画課 048-601-3151	12

C ストックの有効活用のための改修や用途変更工事

施設名	旧施設名	延べ面積	所在地	問い合わせ先	ページ
旧伊深村役場庁舎	伊深自治会館 (旧伊深村役場庁舎)	135 m <sup>2</sup>	岐阜県美濃加 茂市伊深町	美濃加茂市市民協働部 まちづくり課 0574-24-0108	13

D 他の発注者との施設の合築

施設名	主な入居機関	延べ面積	所在地	問い合わせ先	ページ
ミライ on 図書館 (みらいおん)	県:長崎県立長崎図書館 市:大村市立図書館 大村市歴史資料館	13,325 m <sup>2</sup>	長崎県大村市	長崎県土木部建築課 095-824-1111	14
ウェスタ川越	県:多目的ホール、地方庁舎 (10 機関)、創業支援施設、 商工団体事務所ほか 市:大ホール、男女共同参画推 進施設、公民館、子育て支 援センターほか	40,211 m <sup>2</sup>	埼玉県川越市	埼玉県都市整備部営繕課 048-830-5619	15
世田谷合同庁舎	国:税務署、法務支局 都:都税事務所 区:図書館、保健福祉センター	13,117 m <sup>2</sup>	東京都世田谷区	国土交通省関東地方整備局 営繕部計画課 048-601-3151	16
オーテピア (新図書館等複合施設)	県・市:オーテピア高知図書館 市:オーテピア高知声と点字の 図書館 高知みらい科学館	22,766 m <sup>2</sup>	高知県高知市	高知県教育委員会 新図書館整備課 088-821-4931	17

E 複数の用途による複合化

施設名	主な用途	延べ面積	所在地	問い合わせ先	ページ
明德館ビル	高等学校 カレッジプラザ 福祉相談センター	14,723 m <sup>2</sup>	秋田県秋田市	秋田県教育庁総務課 施設整備室 018-860-5116	18
シティホールプラザ アオーレ長岡	市役所 アリーナ 市民交流ホール 商業施設 シアター ナカドマ	35,485 m <sup>2</sup>	新潟県長岡市	長岡市財務部管財課 0258-39-2211	19
周南市徳山駅前賑わい交流施設	周南市立徳山駅前図書館 物販・飲食施設 市民活動支援センター 交番	5,256 m <sup>2</sup>	山口県周南市	周南市中心市街地整備部 中心市街地整備課 0834-22-8438	20

# 営繕工事に係る事業費等の予算見積業務(下調)について

横浜市

## 取組のポイント、特徴、効果

- 事業部局が発注部局に依頼する営繕工事について、事業の前年度までに、発注部局の営繕工事に係る事業費等の予算見積業務(下調)を行う。
- 予算見積業務(下調)により、事業部局は適正な予算額・工期などの把握が可能。

## 取組の背景

厳しい財政事情の中、公共建築の建設にあたっては、コストを意識しつつ良質な施設が求められてきた。そのような状況の中、全市的な設計仕様や建設単価の情報を持つ発注部局が、過不足のない予算確保及び事業の適正執行のため、昭和60年からこの取組を実施してきた。

## 事業部局へ周知する発注ルール等

- 営繕工事に係る事業費(設計委託料、工事費など)
- 必要に応じて事業部局の想定事業スケジュールへの助言(設計者選定・設計・工事発注手続き・工事などに係る期間、複数年度工事の出来高の年度割りなど)

### 《参考》予算見積業務(下調)のスケジュール

- 4月上旬 見積調書(※1)の提出依頼【発注部局→事業部局】
- 5月中旬 見積調書の提出【事業部局→発注部局】
- 7～8月 予算見積業務(下調)(※2)【発注部局】
- 9月上旬 予算見積書(下調書)(※3)の送付【発注部局→事業部局】
- 9月～ 予算要求【事業部局】

(※1) 予算見積の与条件(工事内容、規模等)を発注部局に伝達するための調書のことで、事業部局が作成する。

(※2) 事業に必要な予算概算額を算出する業務のことで、発注部局の設計工事担当課が実施する。  
(設計事務所等への業務委託はしない。)

(※3) 事業実施に必要な予算概算額をとりまとめたもの。  
(工事発注時の積算レベルではない。)

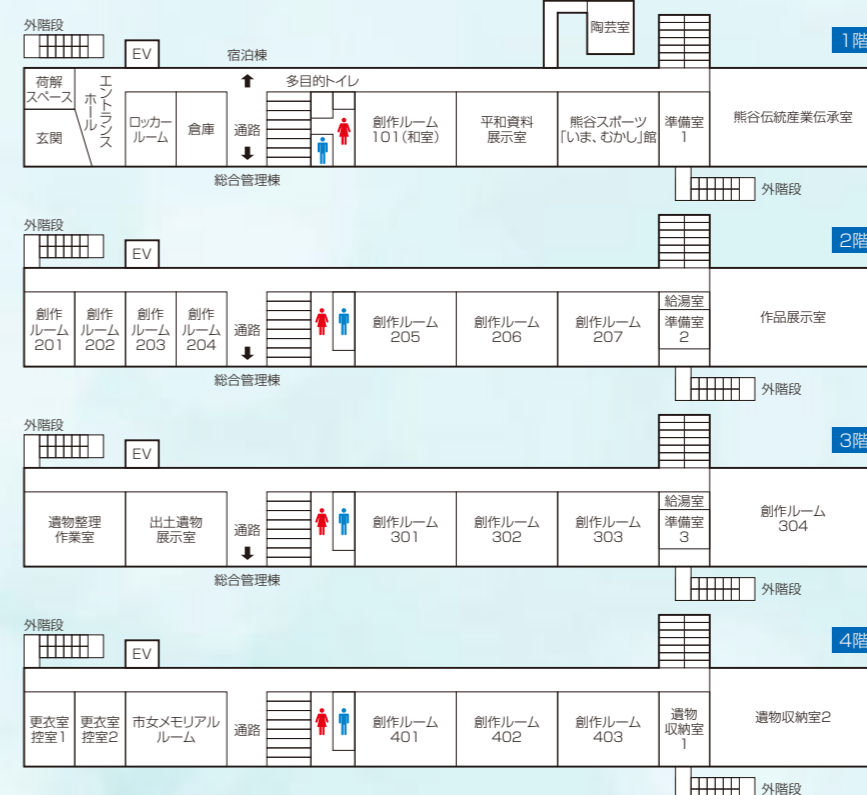


# 熊谷市スポーツ・文化村 くまびあ

熊谷市スポーツ・文化村は、旧熊谷市立女子高等学校の施設を有効活用し、子どもから高齢者までの幅広い世代の市民が、生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことのできる合宿や研修による宿泊も可能な生涯学習センターです。



## 創作展示棟



創作展示棟



創作ルーム205



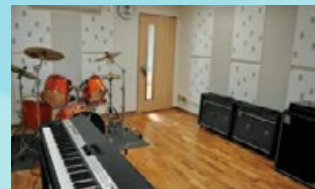
創作ルーム401



総合管理棟



音楽・演劇練習室



練習室1



多目的ルーム304

## クラブハウス



## 宿泊棟

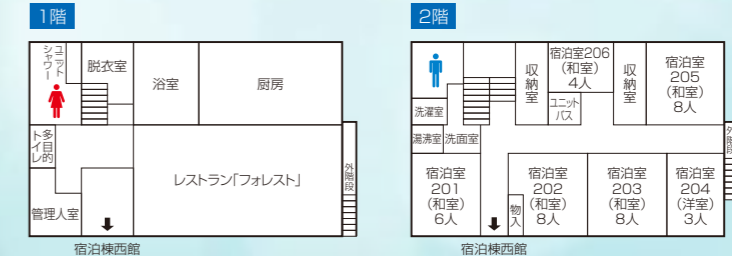


宿泊棟東館

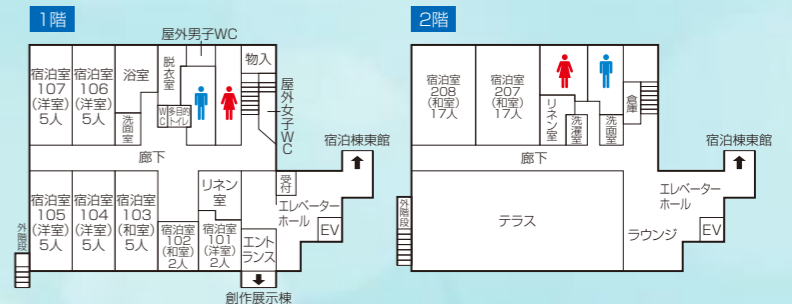


レストラン「フォレスト」  
営業時間 11:30~14:30  
(休館日を除く)

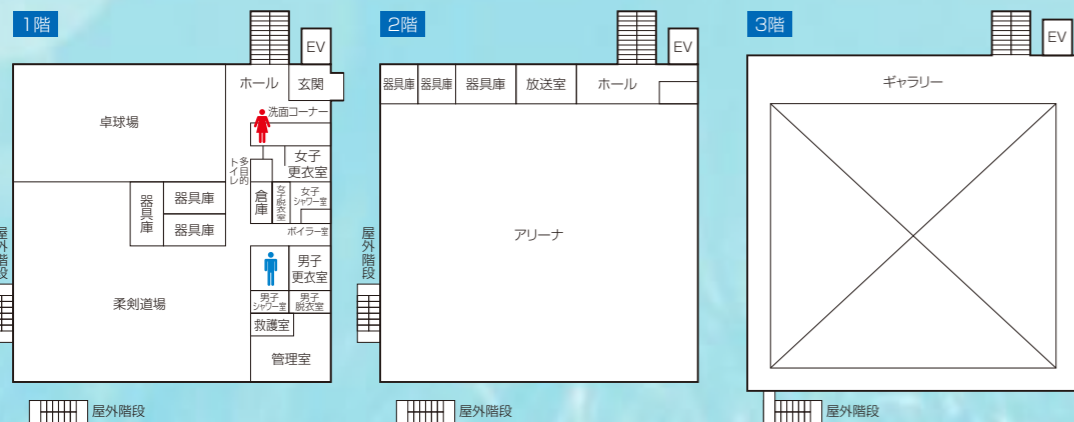
### 宿泊棟東館



### 宿泊棟西館



## 体育館・屋外施設



体育館



人工芝グラウンド



多目的グラウンド



テニスコート

## バリアフリー

- **駐車場** 一般の駐車場がある。障がい者等専用駐車場がある。
- **敷地内通路** 建物の主な出入口前などにスロープがある。建物の主な出入口前などに階段がある。
- **出入口** 建物の主な出入口が自動ドアである。
- **昇降設備** エレベーターがある。車いす対応エレベーターがある。
- **トイレ** トイレがある。車いす対応トイレがある。オストメイト対応設備がある。乳幼児が一時的に座れるベビーチェアがある。トイレ内などに乳幼児のおむつを交換できるベッド(台)がある。
- **その他** 授乳室がある。館内案内板がある。貸し出し用車いすがある。AED(自動体外式除細動器)がある。



# 日本庄商業銀行煉瓦倉庫

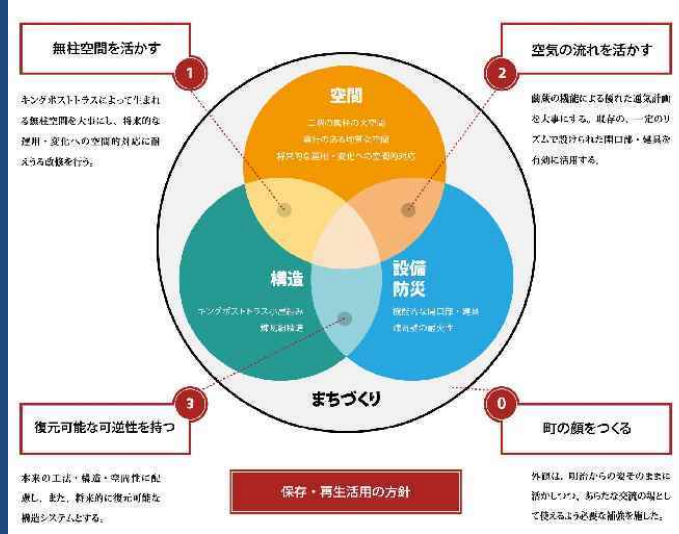
本庄商業銀行煉瓦倉庫は明治29(1896)年に建てられました。もともと、銀行が担保として預かった繭を保管するための倉庫でした。その後、洋菓子店などに利用されながら、現在まで120年もの間、本庄のまちを見守ってきました。そして、平成24(2012)年から調査研究を始め、建物が持つ本来の機能を活かした修理を行いました。



改修前



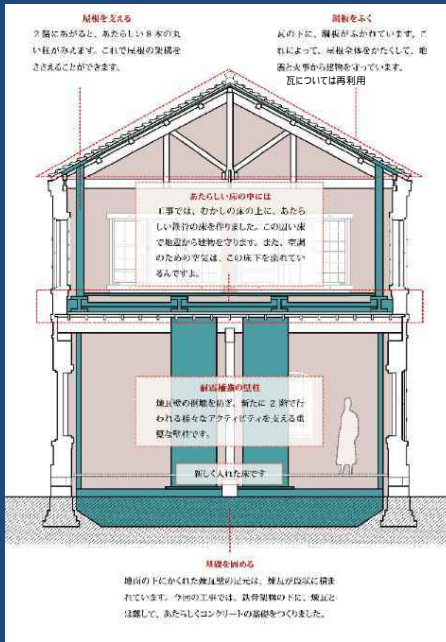
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、湿度調整ができる建具や、2階の無柱の大空間など、さまざまな技術が施された建物です。明治のそうした技術を設計に活かすために、保存再生活用の方針を定めました。



改修前



平成27年(2015)年から2年間かけて修理補強工事を行いました。明治時代の構造を尊重した上で、新たに鉄骨による補強を行いました。今回新たに付け加えた補強は、将来的に取り外して、元の姿に戻すことができる構造になっています。



## 改修後の構造システムの概要図

所在地: 埼玉県本庄市銀座1-5-16 主用途: 展示場 地域・地区: 近隣商業地域、法22条区域 建蔽率: 33.70% (80%) 容積率: 59.59% (200%)  
 駐車台数: 14台 敷地面積1193.70㎡ 構造: 鉄骨造(既存: レンガ組積造・木造) 発注・運営: 本庄市 調査研究: 早稲田大学 設計・監理者: 福島加津也+富永祥子建築設計事務所 施工者: 清水建設 調査研究期間: 2012年~2015年 設計期間: 2013年8月~14年2月 施工期間: 2015年4月~17年2月 開業日: 2017年4月1日



# 氷見市庁舎 ~旧高校校舎から市庁舎へのコンバージョン~

C ストックの有効活用のための改修や用途変更工事



氷見市では、市庁舎（旧）の老朽化や耐震性能不足、庁舎の分散配置等さまざまな問題を解決するため、閉校となった旧富山県立有磯高等学校の体育館と校舎棟の一部をコンバージョンし、新しい市庁舎として整備しました。

AFTER←BEFORE



Photo: スタジオムライ

## ◎メリットを生かす

体育館の特徴である「柱・壁の無い大空間」は今回の計画を進める要因ともなった最大の利点です。この大空間を生かし、1階は市民と密接に関係する部署を全て配置することで、解り易く移動距離の短い「やさしい窓口」とし、これまで問題であった窓口の分散配置を解消することができました。

## ◎デメリットを庁舎の顔に

2階アリーナは天井高さが10mを超え、空調効率が極端に悪くなることが想定されました。天井を低く抑える必要があるが採光窓は上部にしか無く、快適な執務空間を造る上での「致命的な欠陥」でしたが、「船底型天井」の設置により、気積を40%程度抑えて空調効率を向上させ、上部窓からの十分な採光も確保することができました。天井全面に張った軽量の白いテント膜は、日中は自然光、夜間はアップライトで照らされることで、室全体の明るさを確保するとともに、印象的でダイナミックな「新市庁舎の顔」となる空間を造りだしました。



所在地：富山県氷見市鞍川1060  
 敷地面積：20,746.91㎡  
 建築面積：4,374.37㎡  
 延床面積：7,890.31㎡  
 構造規模：SRC造2階建て(旧体育館)×2棟  
 RC造3階建て(旧教室棟)  
 S造2階建て(連結増築部)×2棟他  
 設計監理：山下設計・浅地設計共同企業体  
 オフィスパートナー：株式会社イトーキ  
 施工：名工建設株式会社 北陸支店  
 氷見土建工業株式会社(外構)



# 閉校した高等学校を特別支援学校に利活用

八戸第二養護学校の教室不足を解消するため、高等部を分離独立させ、閉校となった高等学校の校舎を利活用することとし、特別支援学校への転用改修及び老朽改修を実施

旧八戸南高等学校



八戸高等支援学校



## 【閉校校舎の利活用による効果等】

### ○教室不足の早期解消

校舎新增築に比べて工事期間の短縮が図られ、課題であった児童生徒数の増加に伴う教室不足の早期解消を実現

### ○教育環境の充実

施設設備の一新とともに、産業科設置に伴う職業教育環境の整備、省エネ化・バリアフリー化などの機能向上を実施

### ○工事費用の縮減

校舎新增築に比べて柱や梁の構造体の工事が大幅に減少するため、工事費用が縮減

高等学校を特別支援学校に転用



産業科設置に伴い、職業教育のための接客実習室などを整備併せて、施設設備の老朽改修を実施

普通教室・選択教室



接客実習室



化学教室



食品加工実習室



普通教室・選択教室を接客実習室に転用



化学教室を食品加工実習室に転用



## 概要

工事場所	青森県八戸市大字鮫町字小舟平9-291外					
建物概要	校舎棟(S58建築)	(改修)	RC造	3階建	延床面積	7,049 m <sup>2</sup>
	第一体育館(S58建築)	(改修)	S造	2階建	延床面積	1,315 m <sup>2</sup>
	食堂(旧柔剣道場)(H8建築)	(改修)	S造	1階建	延床面積	391 m <sup>2</sup>
	実習棟(旧多目的会館)(H7建築)	(改修)	S造	1階建	延床面積	401 m <sup>2</sup>
	EV棟	(新営)	S造	3階建	延床面積	44 m <sup>2</sup>
事業部局	青森県教育庁 学校施設課					
監理者	東青地域県民局地域整備部 営繕課					
設計者	株式会社石川設計					
施工者	穂積・石上特定建設工事共同企業体	(校舎(建築))				
	久保田・山下特定建設工事共同企業体	(校舎(電気))				
	坂本・テクノ特定建設工事共同企業体	(校舎(機械))				
	穂積建設工業株式会社	(第一体育館(建築))				
	株式会社久保田電気工業社	(第一体育館(電気))				
	株式会社サカモトアクエア	(第一体育館(機械))				
	穂積建設工業株式会社	(柔剣道場一式・多目的会館一式)				



## 事業への取り組み

本事業は施設の特異性から、整備完了までに多様な検討や関係各署との調整などが必要であった。関東地整は、**企画からマネジメント、設計までの各場面にて事業実施に貢献した。**

### ■改修前の状況

既存建物は昭和46年に司法研修所として整備された建物。

### 講堂(改修前)

Auditorium(before renovation)

RENOVATION



### ■改修方針

講堂であった大空間をメインの資料室として整備。既存部分を活かした合理的な整備となるよう改修を実施した。

### 資料室(改修後)

Exhibition & classifying space  
(after renovation)

湯島地方合同庁舎リノベーション  
国立近代建築資料館  
National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs

#### 概要

工事場所	東京都文京区湯島4-6-15外		
建物概要	本館(改修)	R C造5階建	延床面積 5,798 m <sup>2</sup>
	別館(改修)	R C造2階建	延床面積 2,783 m <sup>2</sup>
	新館(改修)	S造2階建	延床面積 366 m <sup>2</sup>
	守衛室(新営)	S造1階建	延床面積 6 m <sup>2</sup>
事業部局	文化庁 関東地方整備局		
設計	関東地方整備局営繕部		
監理者	関東地方整備局東京第一営繕事務所		
施工者	三幸建設工業株式会社 東洋建設株式会社関東支店		



## 文化財をカフェスペースにリノベーション 旧伊深村役場庁舎

1936(昭和11)年に建築された旧役場庁舎は、1981(昭和56)年から地域住民の集会施設「自治会館」となっていました。老朽化のため取り壊しという意見もありましたが、2016(平成28)年、登録有形文化財への登録をきっかけに、価値ある文化財として再び評価されていきます。2017(平成29)年、外観は創建当時の意匠を復原保存し、室内は住民ワークショップの意見を取り入れたカフェへと改修。地域を見守ってきた役場は、現代的デザインと融合し、地域の記憶を継承する交流施設として再生しました。

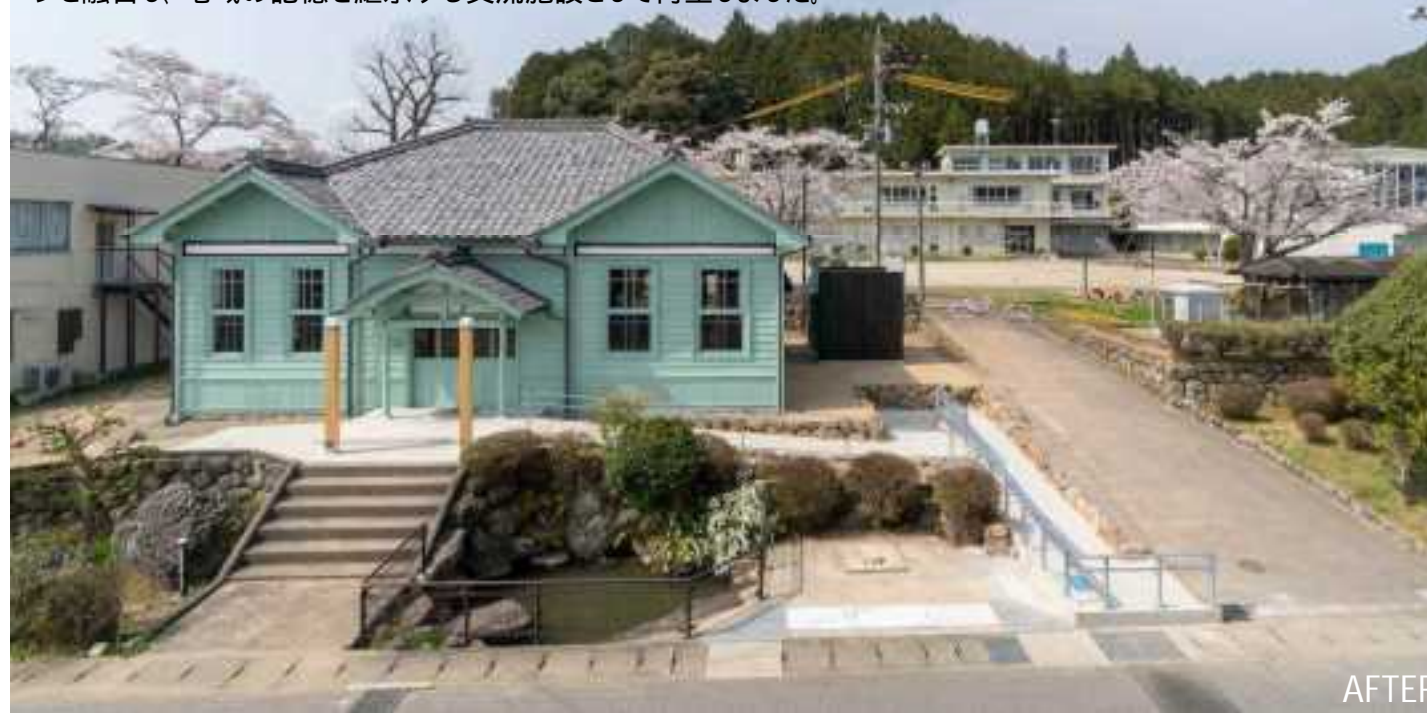
所在地 岐阜県美濃加茂市伊深町895  
 延床面積 135.15㎡  
 改修期間 2017年11月～2018年3月  
 設計監理 株式会社 林廣伸建築事務所  
 デザイン監修 早稲田大学創造理工学部 古谷誠章研究室  
 施工 田中社寺 株式会社

# minokamo

BEFORE



BEFORE



# ミライon図書館 ～長崎県立長崎図書館・大村市立図書館・大村市歴史資料館～

(みらいおん)

都道府県（長崎県）と市区町村（大村市）の施設を、合築により一体整備

## 整備のポイント

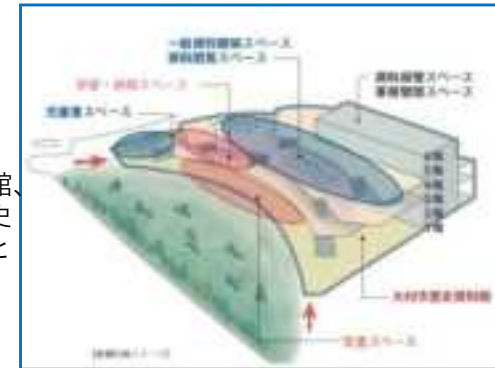
- 県立と市立の施設区分の無い図書館
 

離島も含めた県内各地からの交通アクセスが良好な県央・大村市に、県民・市民のための図書館と、市の歴史資料館を一体整備。収蔵能力約202万冊。県民市民の知識や知恵を育み、学びを支える図書館に。
- まちの賑わいを創出
 

施設を南北に貫くエントランス、多目的ホールなど人々が集える場を提供し、大村市の中心市街地の新たなランドマークとして、賑わいを創出。
- 周辺環境に配慮した外形
- 災害時に安全を確保できる施設
- ユニバーサルデザイン
- 省エネ機器の採用



長崎県の中央部に位置し、空港を有する大村市は、県内の離島からの空の便によるアクセスも良好。



県と市の図書館、そして市の歴史資料館を一体として整備。



大村市中心市街地のランドマークとして、賑わいを創出。





## 県及び市の公共施設と民間事業者によるにぎわい施設を一体的に整備

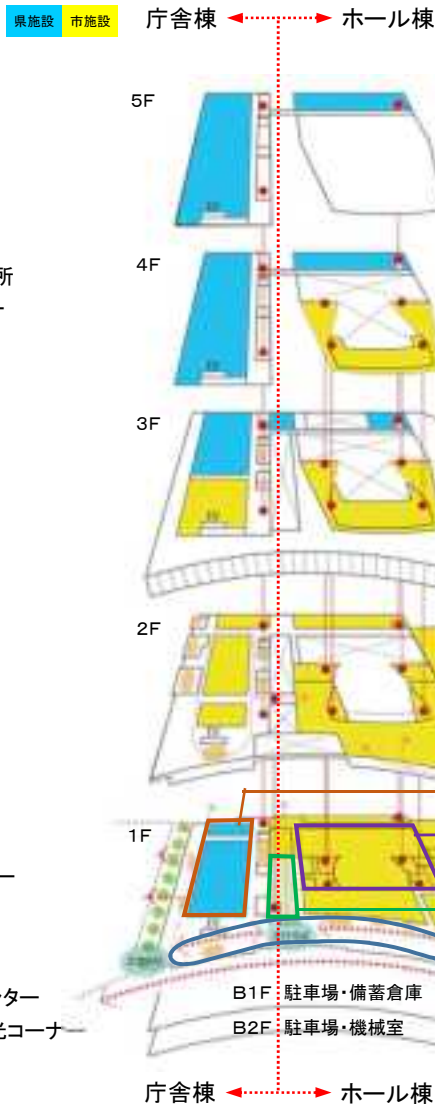
埼玉県と川越市が協同し、地域産業の振興に加え、文化芸術の振興や地域住民の活動・交流を促進するための県及び市の公共施設と、民間事業者による、民間にぎわい施設を一体的に整備しました。

基本コンセプトに“多彩なふれあいによる地域活力の創造拠点”をかけた、これからの公共施設を先導し、魅力的なまちづくりのシンボルとなる施設を目指しました。

3つのモールがそれぞれの施設の独立性を保ちながら、緩やかに連続し民間施設を含めた回遊性を高め、相互の交流と賑わいを演出するようにしています。

## 各階平面図

- |          |   |
|----------|---|
| 5F (県施設) | 商工団体等<br>創業支援施設<br>川越農林振興センター   |
| 4F (県施設) | パスポートセンター川越支所<br>川越比企地域振興センター<br>川越建築安全センター<br>西部教育事務所<br>西部環境管理事務所     |
| 3F (県施設) | 消費生活支援センター川越<br>川越県税事務所<br>会議室  |
| (市施設)    | 男女共同参画推進施設<br>市民相談室   |
| 2F (市施設) | 大ホール・ホワイエ<br>リハーサル室(小ホール)<br>市民活動・生涯学習施設<br>子育て支援センター<br>ワークショップ・情報コーナー |
| 1F (県施設) | 多目的ホール<br>会議室   |
| (市施設)    | 公民館<br>証明センター<br>産業観光コーナー<br>喫茶室  |



多目的ホール



大ホール



光庭



魅せ蔵モール

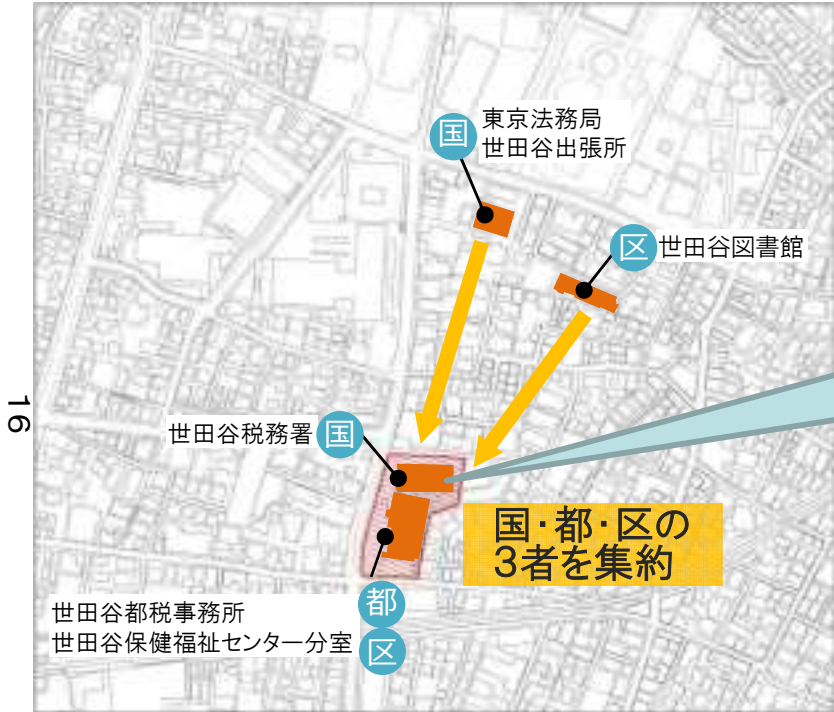
## 建物概要

- 場所 : 川越市新宿町1-17-17 (川越駅西口徒歩5分)
- 建物用途 : 劇場、集会場、事務所
- 構造階数 : 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下2階 地上6階
- 敷地面積 : 13,415.34㎡
- 建築面積 : 8,762.51㎡ (建ぺい率 64.79%/80%)
- 延べ面積 : 40,211.13㎡ (容積率 237.86%/300%)
- 最高高さ : 39.00m





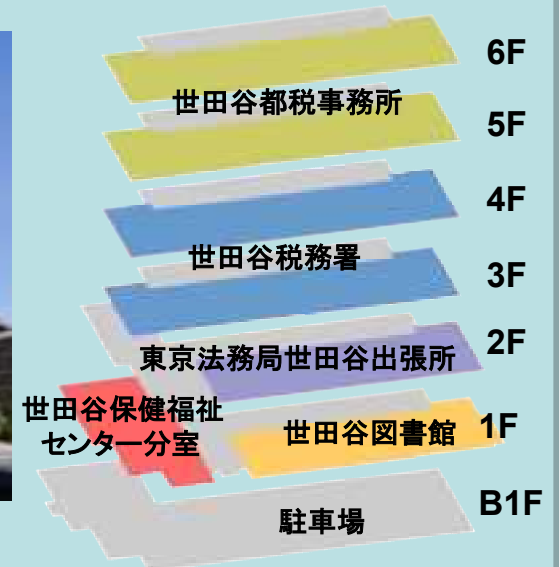
- 国、都道府県(東京都)及び区市町村(世田谷区)の3者の施設を集約・合築し、一体整備
- 集約によって利用者の利便性向上を図り、国有地と私有地の一体利用によってオープンスペースを創出し、地域に貢献



敷地西側オープンスペース



マンホールトイレ



整備の効果

- ・利用者の利便性向上  
(税務署・都税事務所・法務局等の合築)
- ・地域への貢献  
(オープンスペース、地域防災力強化、跡地の有効活用)
- ・耐震性能の確保
- ・バリアフリー化の実現
- ・環境負荷の低減  
(太陽光発電、緑化等)
- ・フレキシビリティの高い執務空間



旧庁舎 世田谷税務署  
世田谷都税事務所



旧庁舎 東京法務局  
世田谷出張所

# 新図書館等複合施設「オーテピア」

D 他の発注者との施設の合築

(オーテピア高知図書館・オーテピア高知声と点字の図書館・高知みらい科学館)

高知県と高知市が、全国で初めての県市合築による「オーテピア高知図書館」、「オーテピア高知声と点字の図書館」、「高知みらい科学館」からなる複合施設を共同で整備



## 《基本コンセプト》

- ・さまざまな人々の交流が深まり、県内の生涯学習や文化の発展に寄与するとともに、県民・市民の暮らしや仕事の中で起こるさまざまな課題の解決を支援する知的・文化的基盤とする。

## 《共同での施設整備》

- ・県市が共同で3つの施設の基本構想検討委員会を立ち上げ、基本構想を策定
- ・設計・施工は高知市から委託を受けて高知県が一括発注

## 《主な施設》

### 1 F

オーテピア声と点字の図書館（市立）  
エントランスホール  
図書館配送スペース



### 2 F～4 F

オーテピア高知図書館（県立・市立（合築））  
共同学習スペース（ラーニング・commons）  
展示室・貴重資料閲覧室  
ホール（200席）・研修室（90席）・集会室（72席）  
学習室（96席）



### 5 F

高知みらい科学館（市立）  
プラネタリウム（82席：12mドーム）  
サイエンススクエア（40席）  
実験室（40席）・工作室（24席）



### その他

バリアフリー施設  
あったかパーキング（障害者等用駐車場）、点字ブロック  
音声案内システム、難聴支援システムヒアリングループ  
多機能トイレ、手すり、ベビールーム  
駐車場（100台）  
駐輪場（自転車305台・バイク82台）



## 《施設概要》

所在地 高知県高知市追手筋二丁目1番1号

建物用途 図書館、科学館

視覚障害者情報支援拠点施設

構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造

鉄骨鉄筋コンクリート造

階数 5階

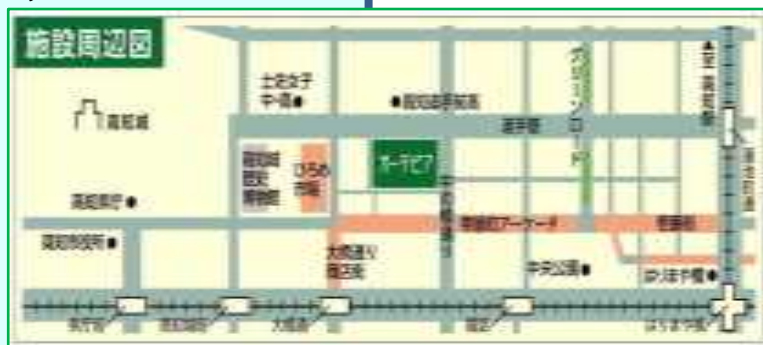
(建築基準法：地上9階、地下1階)

高さ 38.51m

敷地面積 6,605.76㎡

建築面積 4,216.26㎡

延床面積 22,765.93㎡





## E 複数の用途による複合化の事例

## 明德館ビル

◎秋田市内にある定時制三校を統合し、定時制と通信制からなる高校を開校、また高等教育を提供するカレッジプラザ及び秋田県福祉相談センターを合築

◎秋田駅前に施設を集約することで、利用者の利便性を図った。



概要	
工事場所	秋田市中通二丁目1-51
建物概要	SRC造8階建 延べ面積14,723.4㎡
発注者	秋田県



3階～8階	秋田県立秋田明德館高等学校
2階	カレッジプラザ、他
1階	秋田県福祉相談センター、他

# シティホールプラザ アオーレ長岡

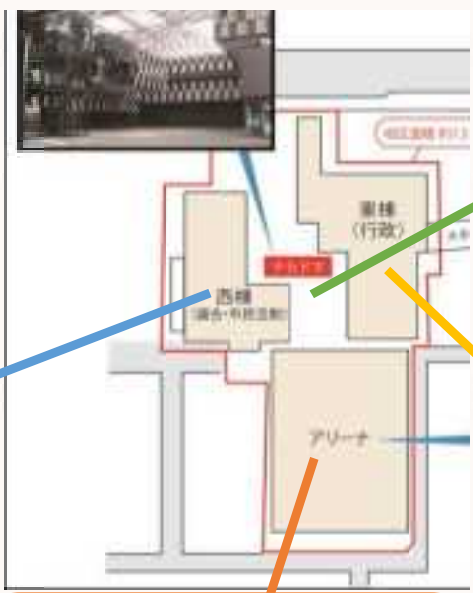
E. 複数の用途による複合化

本庁舎の耐震性不足、庁舎・施設の分散、老朽化といった課題を解決するため、平成24年度にオープン。東棟、西棟、アリーナの3棟で構成され、それらの中心にナカドマと呼ばれる屋根付き広場を整備。土日もイベントが行われることから、行政の総合窓口も土日・祝日開庁することとした。計画段階では、検討状況の全公開や意見交換など、積極的な広報を行った。駅前に整備することで、国の財政支援を受けられたことも、市民の理解が得やすかったと思われる。

また、1階議場は、議員の方々からも賛否ご意見があったが、「開かれた議場」のコンセプトに合致し、ナカドマスペースも広く確保できることを、設計者から根気強く説明いただくことで、決着した。



旧本庁舎は長岡駅から約2km。交通の結節点である、長岡駅前にアオーレ長岡を整備することで、交通弱者対策、中心市街地の賑わいにつなげている。



- 所在地 : 新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
- 構造 : R C造、S造
- 階数 : 地上4階・地下1階
- 延床面積 : 35485.08㎡
- 設計者 : (株)限研吾建築都市設計事務所
- 施工者 : 大成・福田・中越・池田シティホール建築工事特定共同企業体



# 周南市徳山駅前賑わい交流施設

構造：鉄骨造3階建  
敷地面積：4935.32㎡  
延床面積：5256.42㎡

北口駅前広場から見た外観

## コンセプト

- ・このまちへ来る人へのおもてなしの場
- ・このまちに住んでいる人たちの居場所
- ・人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場

## 施設概要

JR徳山駅に隣接している当施設は、カフェや書店を併設する民間活力導入図書館を賑わいの核施設とし、平成30年2月にオープンしました。駅前広場に面する北側は幅5m、長さ120mのテラスが大きく張り出し、また全面ガラス張りとするこゝで、街に開いたファサードとなっています。

施設はオープンから1年で来館者が200万人を超え、多くの方に利用されています。ここで生まれた賑わいを中心市街地さらに市内全体に広げるために、オープン前から、まちづくりや商店街関係者、指定管理者、鉄道事業者、行政等が参加する「街と駅との連携会議」を開催し、「徳山あちこちマルシェ」等の新たなイベントを実施するなど、官民が連携して回遊性の強化及び中心市街地の情報発信に取り組んでいます。

## 開催イベント例

- ・徳山あちこちマルシェ
- ・2018FIFAワールドカップロシア パブリックビューイング
- ・とくやま夢横丁



徳山あちこちマルシェ



パブリックビューイング



インフォメーションスペース



書店とカフェ



学習スペース



2F 図書館



キッズライブラリー